

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 古市 功
発行日 令和4年6月2日
〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1
TEL (027) 232-6511



「マスクの下の素顔」

中部教育事務所長 古市 功

DVDを見ている小さな男の子が父に尋ねた。「お父さん、アンパンマンは頭をかじられたり、たくさんたたかれたりして、こわくないのかなあ？ぼくならこわいな」と。父がそっと答えた。「アンパンマンも怖いんじゃないかな。でも、困っていたり、助けを呼んだりしている人を大切に思うから、きっと勇気がでるんだよ。一人くらいならやられてもしょうがないって思っていたら、世界の平和を守るなんて大きなことはできないんだよ」と。

「よい教師の条件は何か」と問われたら、皆さんはどんなことを考えますか。「的確な指導力」や「豊かな人間性」、「教育への情熱」、「生徒指導や学級経営の力」、最近では「ICTを活用した授業力」などでしょうか。最近読んだある本では「少数意見の児童生徒、弱者の子供の立場になって考えられる教員であること」が第一条件と書かれており、とてもすっきりと納得させられる思いがしました。

急速なデジタル化の推進により、各学校ではICTが積極的に活用され「令和型の新しい学び」の型も定着しつつある一方で、子供だけでなく教職員の目線もタブレット端末を向いて、うつむきがちになります。ともすると大きな時代の変化の中では、上手に適応できない弱者や苦手な児童生徒（教職員）が取り残されてしまうこともあるのではないのでしょうか。しかし、コロナ禍でマスクをしている子供たちの心の変化やつぶやきは一人一人の目元にしか表れてきません……。

新型コロナの流行が子供の生活や健康に与える影響について国立成育医療研究センターが調査したところ、小学校高学年から中学生の1～2割にうつ症状が見られたとの報告がありました。新年度のこの機会に改めて教職員の皆様をお願いすることは、「毎日、一人一人の児童生徒の目をしっかりと見て、話を聞き、語りかけてほしい」ということです。元気がよく、反応の豊かな子だけでなく、教室の端で静かにしているあの子やいつも困らされるあの子にも…。目元に表れるわずかな表情を見て「今日は元気がないな。何か困ったり、悩んだりしているのかな」と気づき、そっと声をかけられる感性や技能は、AIにも勝る、親と教員だけがもつ特別な専門性だと確信しています。

不登校やいじめの防止、児童虐待やヤングケアラーへの対応、自殺予防のためのSOSの出し方教育等、児童生徒一人一人の命や安全を守るための課題は山積しています。しかし、いずれにおいても児童生徒の困り感や悩みを早期に発見するゲートキーパーとしての役割が学校・教員に求められています。

いつでも相手の目を見て、マスクの下の素顔に思いを巡らせ、助けを求める一人の児童生徒のために力を尽くす、アンパンマンのような正義の味方である先生方の活躍を心から期待しています。

【学校教育係 人事】

～ 事故急増中です！！～

“だろ”運転から“かもしれない”運転にシフトチェンジ！



令和4年度は、スタートして間もない5月中旬にも関わらず、教職員の加害的事故が、昨年度上半期の事故件数に迫る勢いです。事故原因をみると、「交差点で信号が青だから前方の車も発進するだろう、と発進したが、実際には止まっていて衝突してしまった」「細い交差点だから車は来ないだろうと進入すると、優先道路を走る車と衝突してしまった」など、運転時の不注意、思い込みからくる“だろ”運転をしている時に事故が起きています。慣れた通勤路でも、私用のお出かけ中でも、「前の車は発進が遅いかもしれない」「細い交差点だけど車が来るかもしれない」など、“かもしれない”運転を心がけ、これ以上交通事故が増えないようにしていきましょう。事故対応はご自身の精神的負担が大きいですし、家族にも心配をかけます。そして、児童、生徒、保護者や地域の方々からの信頼も失うかもしれないのですから。

【総務係】 学校教職員の皆様へ

① 各種手当の認定要件等に変更があった場合は、必ず事務職員に申し出てください。

【例】転居、家賃の変更、扶養親族の増加（父母の収入減、子の出生等による）、扶養親族の所得増（108,333円超/月）

② 通勤途上や勤務時間中に、医療機関を受診しなければならない怪我をした場合は、直ちに校長、副校長、教頭等に報告してください。「公務災害」の対象となる場合があります。



【学校教育係 指導】

昨年度は、1 人 1 台端末が導入され、先生方は試行錯誤しながら、授業実践を重ねてきたことと思います。積極的に ICT を活用したことで、子供たちの集中力やモチベーションが高まったという効果もあれば、いくつかの課題も見えてきました。

「ICT を活用したことが、ねらいを達成する上で効果的であったのだろうか？」

「ICT を活用したことで、主体的・対話的な学びが展開されたのだろうか？そして、学びを深めるために有効であったのだろうか？」

これらの課題から今年度は、授業の在り方についてもう一度じっくり考える、そんな一年であると捉えています。そのためには、学んでいる目の前の子供としっかり向き合うこと、そして子供の学ぶ姿を通して自身の授業を振り返ることが大切になると考えます。

そのような中、学校教育係では、昨年度に引き続き、「授業改善推進応援事業」に力を入れてまいります。この事業は、単元全体を見通して計画的に授業を進めるための単元構想や子供の学びを深めるための ICT の効果的な活用について一緒に考えながら授業づくりをしていきます。そして、主体的・対話的で深い学びの視点を生かした「子供主役の授業づくり」を目指すものです。先生方に「すぐに実践してみたい！」と感じていただけるような、授業アイデアや実践的な研修内容等を学校訪問や Web ページ等を通して提供及び支援させていただきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

R4年度 中部教育事務所 指導の基本方針

“温かい学級”で子供たちが生き生きと学べる学校・園をめざして

組織力 子供たちを「**チームで育てる**」学校・園づくり
～校・園長のリーダーシップの下、真に必要な教育活動の実践～

学級力 学校・園が楽しく、安心感・充実感が得られる
“**温かい学級**”づくり ～人権教育・特別支援教育の視点を生かして～

授業力 主体的・対話的で深い学びの視点を生かした
「**子供主役の授業**」づくり ～ICTの効果的な活用を生かして～

【生涯学習係】

生涯学習係では本年度の運営方針を「生涯学習社会の構築を目指した人づくり・地域づくりの推進」とし、管内市町村教育委員会や各種関係団体と連携しながら、主に①生涯学習・社会教育の充実、②地域と学校の連携・協働の推進、③家庭教育支援の充実、④社会教育委員会議の活性化、⑤人権教育の充実、⑥青少年健全育成の推進に努めていきたいと考えています。

具体的には、各種研修会や講座、会議の開催等を通して、管内市町村の人づくり・地域づくりの推進に向けた取組を進めていく予定です。特に研修会や講座の実施に際しては、新しい生活様式を踏まえ、参集やオンライン、参集とオンラインの併用等、「新たな学びや連携の形」を取り入れながら、参加者の安全・安心を担保しつつ、学びの機会を保障できるよう工夫いたしますので、研修会等の案内が届きましたら、参加について前向きにご検討いただけたらと思います。

また、群馬県教育委員会では、「ぐんまの親の学びプログラム」を活用した学習会「ワクわく子育てトークング」を実施しています。本学習会は、テーマに沿ったエピソードを基に、参加者が話し合ったり、悩みを共有し合ったりする参加体験型の学習会です。PTA や子育て支援ボランティア対象の研修、公民館での家庭教育学級、就学時健診や入学説明会等における保護者同士のつながりづくり等の場面で活用できると思ひます。少人数の集まりでも実施可能ですので、実施希望がありましたら中部教育事務所生涯学習係までお声掛けください。

なお、「ワクわく子育てトークング」については、生涯学習センターの Web ページにて閲覧できます。

https://gllcenter.gsn.ed.jp/9a098c0a0b15dcccce612b928668475a/page_20210123063217

自分に合った「子育てのコツ」に気付く！参加者同士の「つながり」が生まれる！

ワクわく子育てトークング

～ぐんまの親の学びプログラム～

開催してみませんか？

「ワクわく子育てトークング」って？

「ワクわく子育てトークング」とは、参加者同士が役割演技等の手法で交流しながら、子育てについて話し合い、学び合う学習会です。

参加者同士が話し合うことで、自分の子育てを振り返ったり、新たな気付きを得たりすることができます。

ファシリテーター（進行役）が、場を和ませながら、参加者のトークをサポートします。

ワクわく子育てトークングの流れ

- ①アイスブレイク
簡単なゲームなどで緊張感を和らげます。
- ②ワーク（活動）
身近なエピソードをもとに、役割演技を行い、「親の気持ち」や「子どもの気持ち」を考えます。
○テーマについて参加者同士が話し合います。
- ③まとめ
話し合いを振り返り、これからの子育てへの意気込みを共有します。

いつ・どうやって開催するの？

自分でもいえるような経験や方法があることが、参加のモチベーションになります。

自分自身で「子どもの気持ち」や「親の気持ち」を体験しました。

参加者の声

「子育ての悩みを共有できたのが嬉しかったです。」

「参加者同士の交流がきっかけになりました。」

「PTA セミナー」や「就学時健康診断」、「入学説明会」等での開催がおすすめです。

- ほかに、「保護者懇談会」、「保育参観」、「公民館講座」、「職場内家庭学習研修会」など、多くの保護者が集まる機会に開催できます。
- これから親になる世代（中学生や高校生など）を対象としたプログラムもあるので、授業の題材として活用することもできます。
- 群馬県教育委員会では、ファシリテーターの派遣を行っています（派遣費用は無料です）。
- 開催についての相談や、ファシリテーター派遣を希望される場合は、生涯学習センター、農協りの教育事務所にお問い合わせください。（お問い合わせ先は裏面に記載しています。）

群馬県教育委員会 生涯学習課